

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 1 月 29 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	まだ家族会を開催していない為、実際どのように入居者がグループホームで過ごされているか、スタッフがどのようなケアをしているのか知っていただけていない状態である。また、意見箱を設置しておらず、ご家族の言い出しにくい意見を受け入れる環境が整っていない。	家族会を開催し事業所のことをより知っていただき、家族と職員、家族同士の交流を深め、家族と職員が連携して入居者のよりよいケアが出来るようにしていきたい。また、ご家族から事業所への改善点や助言をいただけるよう環境を整えていきたい。	今年度中に家族会が開催できるよう、これからスタッフ全員で計画をしていく。また、意見箱を玄関に設置し、ご家族がスタッフに気兼ねなく活用していただけるように取り組んでいく。	3ヶ月
2	35	年2回防火・避難訓練を予定し実施しているも、まだ、地域の方々の参加までには至ってない。また、AEDの設置をしていることを、地域に発信できていない	引き続き火災避難訓練を実施し地域の方の協力も頂けるような体制を築いていく。またAEDの設置を地域に発信しグループホームや法人の地域貢献の一環となるよう取り組んでいく。	次回の運営推進会議と合同で火災避難訓練を行いAEDの設置についても地域に発信していく。	3ヶ月
3	26	計画作成担当者は家族や医療機関とのやりとりをケース記録や、個人申し送りノートに記載しており、支援経過記録として記録を残していなかった。	ご本人やご家族の思いに寄り添ったプランが作成でき、利用者やその家族の意向・満足度、援助目標の達成度、医療的な情報を把握し、次のプランに反映できるよう努める。	支援経過記録を作成し、随時情報を整理し、見直す時その時の状態が把握しやすいように記載していく。モニタリングやカンファレンスの結果を反映し職員の観察結果を活用していく。その人らしいプランを作成し支援できる様に取り組んでいく。	3ヶ月
4	33	入居時に家族へ重度化・看取り対応に関する説明は行っているが、今後予測される事について家族ときちんとした話し合いは出来てない状態である。	入居者の体調や状態の変化にいつでも対応できるよう、協力医と連携を図りながら、本人・家族と一緒に考え、重度化や終末期に向けた支援を行っていく。	今年度開催予定の家族会の中で説明し、個々の意向や今後に備え話し合いを行っていく。また、実際そのような状況になったときにも再度話し合い、個々の意向に対応できるように取り組みを行っていく。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。